

折に触れ 四字熟語

NO. 268 【歳月不待】 さいげつ ふたい

< 意味 > 年月は人の都合などにかまわず速やかに過ぎ去り、しばしもとどまらないこと。時間を大切にして、今しなければならぬことを努力して行うべきことをいう語。また、時間は無情に速やかに過ぎ去ることから、人生のはかなさをいう語。一般には「歳月、人を待たず」と用いられる。

< 出典 > 『陶潜』「雑詩」。「時に及んで^{まさ}当に勉励すべし。歳月は人を待たず」

一言： 令和5年も半年がとうに過ぎ、あと10日もすれば10月です。元号で言っても平成が終わってからもう5年が過ぎたのですから月日の過ぎ行く速さに驚くばかりです。

参照文献： 岩波書店「四字熟語辞典」